

# 企業様向け 危機対応研修パック

## Contents

- 危機対応研修基本モデルについて
- 危機対応研修パックのご提案
- 危機管理講義
- 課題付与型訓練
- 状況付与型情報処理訓練
- 研修当日の日程(例)
- 成果物イメージ(例)
- 業務スケジュール(例)



## ■ 短期間で効果的に個人・組織の基本的な危機管理能力を向上させる【危機管理研修 基本モデル】について

### ■ 心・あたま・からだを育てる基本モデル

危機管理研修の基本モデルは、企業(組織)と従業員(個人)の危機管理に対する「心」と「あたま」と「からだ」を育てることを基本としています。これら3つを、目的を持ってバランスよく育てることで、どのような危機にも対応できる個人や組織を、短期間で効果的に養成することができます。

### ■ あらゆる危機に対応

この危機管理研修基本モデルは、あらゆる危機に対応したものです。

### ■ 課題解決で、継続的な向上へ

研修の結果、組織内の「課題」や「問題点」が明らかになるといふ副次的な効果も期待できます。この課題解決を図ることで、継続的に危機管理能力を向上させることができます。



危機管理研修 基本モデル図

# ■ 企業様向け 危機対応研修パックのご提案

## ■ 会社・従業員の危機管理能力の向上に！

「企業様向け 危機対応研修パック」は、防災・事業継続等、危機対応研修に取り組まれている企業様向けの教育・訓練パッケージです。

## ■ 危機管理能力を短期的・効果的に向上

「危機管理研修基本モデル」をベースに、次の3つのプログラムで構成しています。企業（組織）と従業員（個人）の基本的な危機管理能力を、短期的かつ効果的に向上させることができます。

ところ「危機管理講義」  
 あたま「課題付与型訓練」  
 からだ「状況付与型リスクコミュニケーション訓練」

## ■ あらゆる危機に対応

地震、津波、浸水、火災等の自然災害や大事故災害、新型インフルエンザ等の感染被害、テロ等、企業をとりまく様々な危機に応じた内容とすることが可能です。

## ■ 計画やマニュアルの有効性の検証に

既に防災マニュアルや事業継続計画（BCP）を策定済の企業様は、策定した計画等の有効性を検証しながら、危機管理能力を向上させることができます。

## ■ 具体的なイメージで自社の対策の参考に

これから本格的に取り組もうとされている企業様は、危機管理の基本的な知識や技能を身につけると共に、企業が遭遇する危機的状況を具体的にイメージし仮想体験することで、自社の対策の参考にすることができます。



Science Craft

# ■ 危機管理講義 ～ 危機管理に必要な知識と技能について～

## ■ 成果：危機管理に必要な「知識」「技能」「心構え」を身につける

企業の事業継続(BC)も考慮した危機管理の基本的な「知識」や「技能」「心構え」を学習します。

「危機管理」の特性や意義、危機管理のあり方  
 「危機対応」の実態  
 「危機管理」に必要な基本的「知識」「技能」「心構え」

## ■ 基本的な危機管理の知識を技能をまなぶ

どのような危機に対しても必要となる、基本的な知識と技能を学びます。



### 【講義内容例】

項目	概要
危機の特性と危機管理のあり方	行政・企業が対象とする危機とは（行政・企業を取り巻く危機の発生状況の実態） 危機の特性
	危機管理の意義 危機管理の基本(危機対応を行うための基本8要素)
危機対応の実態	危機対応活動の実態と課題
危機対応に必要な基本的「知識」と「技能」	危機管理に必要となる個人・組織の役割に応じた「知識」 災害対応の原則と物差し 危機対応職員個人の地位別の役割と心構え 組織の役割と機能 内外組織との調整・連携(本部会議、班長会議の意義)
	危機対応上の基礎となる“情報活動” 情報活動の意義 情報活動の基本とそのポイント（収集努力の指向 / 収集 / 処理 / 提供） 情報処理の流れと役割 情報活動結果のとりまとめとその焦点 危機対応の具体的な対応策の検討手法（問題解決の手法） 基本8要素の活用による対策案の検討 業務実施の基本的なシステム(体制の確立、組織の運用、業務の運営)

ft

## ■ 課題付与型訓練 (問題解決手法の習得)

- **成果**：危機発生時の課題をとらえ、問題解決の手法を習得する  
「危機発生」の事態時に生じる特有の課題を検討テーマとして、問題認識のとらえ方をはじめ、具体的な対策案の案出および適切な解決策の決定までの思考検討プロセスを通じた問題解決手法を習得します。
- **手法** < 課題付与型訓練 >  
グループ編成された各班(チーム)に対して、検討テーマ課題を与え、これについてチーム内でその問題解決をはかるべく検討を行い、整理します。
- **実施方法**  
各班内では、与えられた課題テーマに関する検討を実施する。  
各班内で「問題解決に向けた思考結果」としての検討内容を整理する。  
各班の代表者が検討結果と、問題解決の過程を発表する。  
講師が、テーマ別の問題・対策案・解決策の一例を提示し、解説するとともに問題解決手法(基本8要素を活用した検討手法)を紹介する。



検討テーマ例

項目	概要
危機の特性と 危機管理のあり方	危機対応上での意志決定に関する考察 資源(ひと・もの)の提供・配分に関する考察 外部支援機関との調整・連携のシステムに関する考察 適切なお客様対応システムに関する考察 支援物資の配送システムに関する考察

## ■ 状況付与型情報処理演習 (情報処理技能の体得)

- **成果**：情報処理とリスクコミュニケーション能力を身につける  
実際の危機的な状況の付与に即した情報処理活動を通じて、危機対応の基本となる情報処理活動の意義を認識しつつ、その処理技能を体得します。
- **手法** < 状況付与型訓練 >  
グループ編成された各班(チーム)に対して、危機発生後から行きかう状況(情報)を時間の流れにそって付与し、チーム内でその情報の評価・処理・整理・管理を行うとともに、最終成果として取りまとめ報告書を作成し、発表します。
- **状況付与型演習の概要(例)**



【想定危機】

大規模地震の発生を想定

【対象時間】

地震発生後、30分後～1時間程度の状況をもとに訓練実施

想定する危機事案や、訓練の対象設定時間は変えることができる

【実施方法】

各班内で役割分担、道具の使用方法等の検討など事前準備を実施

逐次付与される情報(状況)を評価する。

白板・地図・PCなどを駆使して情報を処理・整理する。

「首長への報告」事項となる取りまとめ報を作成をする。

各班の代表者が「首長への報告」を疑似的に実施する。

講師が情報処理の意義を解説し、道具の使用方法の一例を紹介する。



## ■ 研修当日の日程(例)

### ■ 9:00～16:00の実施例

時 間	所要		内 容
	時	分	
9:00～10:10	1	10	危機管理 講義 「危機管理に必要な知識と技能について」
10:10～10:20		10	休憩
10:20～10:30		10	課題付与型訓練「ルール説明」
10:30～11:20		50	課題付与型訓練 「危機状況下における問題解決手法」
11:20～12:00		40	・発表(30) ・解説(10)
12:00～13:00		60	昼食
13:00～13:15		15	演習準備
13:15～14:55	1	40	状況付与型情報処理演習 「危機的状況下における情報処理活動」
14:55～15:00		5	休憩
15:00～15:45		45	・発表(30) ・解説(15)
15:45～16:00		15	ふりかえり・講評

Science Craft

## ■ 業務内容・成果物(例)

### ■ 業務の内容

- ・研修実施前の打ち合わせ (1回程度)
- ・研修実施に係る資料の作成
- ・研修実施当日の講義と訓練運営支援 (1日)

### ■ 対象人数

- ・20～40人程度 (ご相談に応じます)

### ■ 成果品(例)

- ・研修実施に係る関係資料一式
  - (1) 危機管理講義資料
  - (2) 課題付与カード一式(課題付与型訓練用資料)
  - (3) 状況付与カード一式(状況付与型訓練用資料)
  - (4) 訓練・研修実施記録書

### ■ 「首長への報告」事項となる取りまとめ報の項目(例)

- 1 把握できた客観的事実
  - (1) 被害状況
  - (2) 国・県・市町村・関係防災機関の初動対応状況
- 2 本災害の特徴(コメントが可能な範囲)
  - (1) 災害の大きさ、国、県外からの応援の要否
  - (2) 特に報告を要する特異な被害
  - (3) 天候気象が及ぼすと考えられる影響
- 3 今後の見通し

業務内容や社会的な役割は違っても、危機対応の基本は同じです。本サービスは、危機管理能力を効率よく向上させるための基本モデルとして、質の高い内容を安価にご提供できるようパッケージ化いたしました。組織の危機管理能力の向上・検証に、是非、お役立て下さい。

また、危機の種類・被害の程度・組織環境・事業環境・能力の段階など、お客様のご事情もさまざまです。この基本モデルをベースに、お客様に最適な危機管理教育・訓練プログラムの開発などにも、きめ細かく対応いたします。

地震・大事故災害・新型インフルエンザなど、「危機管理に関する人材育成」につきましては、実績・経験が豊富な弊社に、お気軽にご相談ください。

株式会社サイエンスクラフト

Science Craft